

在マラウイ共和国日本国大使館
特命全権大使 寒川 富士夫 殿

公益社団法人 日本国際民間協力会
理事長 小野 了代 印

日本NGO連携無償資金協力事業
完了報告書

平成22年11月5日付日本NGO連携無償資金協力贈与契約に基づく「マラウイ共和国中部ンコタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業（フェーズ3）」が、平成24年1月4日をもって完了いたしましたので、関係書類を添え、下記のとおり報告いたします。

記

1. 事業の実施期間： 平成22年11月5日 ～ 平成24年1月4日
2. 事業の実施成果（要約）：

ア. 申請書に記載した期待する成果とその達成度

1) マラリアや住血吸虫症の罹患率の低下

- ①マラリア：フェーズ1、フェーズ2に続き乾季・雨季の二度に亘り長崎大学熱帯医学研究所より日本人医師2名を派遣し、事業対象地域の住民1,200名以上を対象にマラリア検査を行った。蚊帳配布2年後の陽性率は蚊帳配布前と比較し、裨益者全体で30%、5歳未満の子供全体で43%の低下が確認された。本活動に関して長崎大学宮城医師の作成した報告書を資料⑧-1及び⑧-2に添付する。また、追加の対象地域及び以前からの対象地域内の新規入居者に対して合計2,000張の蚊帳配布を実施すると共に、これまでに配布した全ての蚊帳の使用状況に関するモニタリングを年に3度実施した。その結果、事業地内の蚊帳使用率は平均90%以上を維持しており、上述のマラリア患者数の大幅な減少に貢献していることを確認した。
- ②住血吸虫症：フェーズ2に引き続き、住血吸虫の第1宿主である巻貝の繁殖時期である7月上旬の前後で二度(6月上旬及び8月上旬)に亘り関西医科大学より日本人医師2名を派遣し、事業対象地域で無作為抽出した住民約300名を対象にビルハルツ住血吸虫症の検査を実施した。その間6月中旬に住血吸虫症の治療薬であるプラジカンテルを事業地の960名以上に一斉投与し、治療薬投与前と投与後の陽性率を比較した。その結果、2010年6月に35%であった陽性率が2011年8月では8%となり、27%の陽性率低下が確認された。本活動に関して関西医科大学田淵医師の作成した報告書を資料⑧-3及び⑧-4に添付する。また、同医師が第52回日本熱帯医学会大会にて発表を行った際の抄録を添付資料⑧-5に示す。共に調査を実施したマラウイ政府保健省担当者の考察によると、この陽性率の大幅な減少には、治療薬の一斉投与に加えて住民達への予防教育や、エコサントイレ、

井戸の建設によって事業地内で住血吸虫症が伝染しにくい環境が浸透したことが大きく貢献したと考えられる。

2) 妊産婦教育システムの構築、母子保健サービスの質の向上

事業地内で新たに4名の伝統的産婆に対して妊婦・新生児管理講習会を実施し、フェーズ2から引き続き合計9名の伝統的産婆を講師とした母親学級を毎月2回のペースで開催した。この母親学級には毎月平均43名、一年間で合計558名の妊婦が参加した。また事業終了後の母親学級継続を支援するため、フェーズ2で組織した女性の健康グループに対して収入創出活動支援を実施した。本活動に専門家として従事した疋田助産師が第26回日本国際保健医療学会学術大会において発表を行った際の抄録を添付資料⑧-6に示す。また毎月一回、ンコタコタ県病院の助産師を事業地の保健センターに派遣し、事業地の全妊婦を対象に妊婦健診を実施した。

3) HIV/AIDSの感染予防活動

上述の妊婦健診においてHIV検査を実施し、陽性者に対しては県病院での診察と精密検査の紹介状を発行することで治療へのアクセスを提供した。また、事業地の村落保健委員会を対象としたHIV/AIDS・性感染症の予防講習会及び全住民を対象としたHIV/AIDS予防キャンペーンを実施した。

4) 安全な飲料水の確保と住民による維持管理

- ①安全な飲料水の確保：事業対象地域内の10か村で新たにそれぞれ1基、合計10基の浅井戸を建設した。これにより、フェーズ1で建設した10基とフェーズ2で建設した4基の浅井戸、及び6基の水道蛇口を合わせて3年間で事業地内の合計30か所において安全な水を供給した。
- ②住民による維持管理：井戸1か所ごとに10名の村人から成る井戸管理委員会を組織し、彼らが自主的に井戸を管理できるようにトレーニングを実施した。
- ③井戸の維持管理のための資金創出：これまでに建設した井戸/水道を村人が自主管理するための資金調達の一環として井戸の廃水を利用して野菜や果物を栽培・販売するウォーターポイントガーデンの運営を16か所で行った。

5) 公衆衛生改善活動

- ①エコサントイレ建設：事業対象地域で新たに30基のエコサントイレを建設した。これにより、フェーズ1（65基）とフェーズ2（144基）を合わせると3年間で合計239基のエコサントイレを建設した。さらにフェーズ2で組織したトイレ管理委員会による利用促進・モニタリング活動の結果、建設した全トイレの利用率は88%、このうち所有者の転出により現在未所有となっている6基を除けば90%を維持している。
- ②エコサン肥料デモンストレーション農場運営：エコサントイレの有効性を普及させるため、エコサントイレから採取された肥料を使用したデモンストレーション農場を事業地の3か所で運営した。その結果、フェーズ2で取得したデータと合わせてエコサントイレより採取された肥料を使用した場合は無施肥の場合と比較して約2.5倍のメイズ収穫高が得られることを実証し、住民のエコサントイレに対する関心を高めた。

6) 自給自足のための農業技術の定着、安定した収穫量の維持、栄養改善

- ①ローカルシードバンク運営：安定した収穫を得るための次期作付け用の穀物種子の保存を目的にフェーズ1で建設した3か所のローカルシードバンクにおいて、昨年の187世帯、合計3,180kgを大幅に上回る389世帯、合計14,276kgの種子を住民より収集し、保管した。その内1,023kgはシードバンク運営用の余剰種子として村人から寄付された。この余剰種子は村落農業委員会によって利子付きでの貸し出しや売却によってシードバンクの自立運営用に利用されている。

- ②学校菜園運営：事業地内の2か所の小学校において、児童らを主体とした大豆、カボチャ、いんげん豆、サツマイモ、キャッサバ等の栽培指導を実施した。実際の栽培と同時に栄養に関する教育や実際に収穫した作物を使った料理の講習会を実施することで、児童らに作物の栽培方法から栄養バランスの採り方までを含めた栄養に関する包括的な知識を指導することができた。

7) 保健センター産科棟の建設

事業地のムパマンタ保健センターにおいて、分娩施設を備えた産科棟の建設を実施した。建設した産科棟には太陽光発電システムによる配水ポンプ、電灯、ワクチン冷蔵庫、無線設備等のほか、分娩に必要な一通りの家具や医療資器材を配備した。完成した産科棟は2012年2月10日にマラウイ政府保健副大臣らの参列のもとで公式にマラウイ政府に対する引き渡し式を開催し、その後2012年3月20日現在で計29名の新生児が誕生している。

イ. プロジェクトの自己評価

【妥当性】

本事業ではマラウイ政府の開発計画において常に最重要課題に挙げられる、感染症対策、母子保健、食糧安全保障、及び安全な飲料水の確保に関する事業を組み合わせ実施し、事業地において貧困の悪循環を緩和することに貢献した。2010年にマラウイ政府より発行されたミレニアム開発目標報告書でも母子保健の改善に関して目標の達成が危ぶまれているほか、幼児死亡率・感染症の減少についてもまだまだ予断を許さない状況が続いていると報告されている。さらに昨今のマラウイにおける外貨不足と化学肥料の価格高騰による深刻な肥料不足の代替案の一つとしてエコサントイレは有望視されており、本事業の妥当性は高い。

【効率性】

本事業では事業開始当初より事業終了後の裨益者自身による自立的な発展の継続を念頭において、①事業終了後の移管先となるマラウイ現地政府普及員への技術移転、②事業終了後の自立的発展の主体となる村落委員会の組織化と教育、③各村落委員会による自主的な活動のモニタリングと再指導、の順序で活動を進めることで高い効率性を確保した。

【有効性】

本事業では配布した蚊帳に対するモニタリング活動を通して住民の蚊帳使用率を常に90%以上に維持し、その結果、2年余りで5歳未満児のマラリア陽性率を43%減少させることに成功した。また、住血吸虫症に関しても治療薬の一斉投与のほか、予防教育やエコサントイレ・井戸建設等を通して陽性率を35%から8%に下げることにも成功した。その他にもエコサントイレから採取された肥料を用いたメイズ栽培のデモンストレーションを通して、無施肥と比較して2.5倍の収穫高が得られることを実証するなど、本事業の有効性は非常に高い。

【インパクト】

上述したマラリア対策活動の成果に関しては、マラウイの全国紙であるThe Daily Times紙(2011年4月11日発行)及びGuardian紙(2011年4月6日発行)によって全国的に報道された。また、2011年11月4日~6日にかけて日本で開催された第52回日本熱帯医学会大会、第26回日本国際保健医療学会学術大会合同大会において、短期派遣専門家の関西医科大学の田淵医師が住血吸虫症の調査結果に関して、長期派遣専門家の疋田助産師が母子保健活動に関してそれぞれ学術発表を実施した。保健センター産科棟の建設にあたっては、マラウイ政府保健省の副大臣や事務次官が引き渡し式に参列し、テレビ放送や全国紙のThe Nation(2012年2月13日発行)に記事が掲載された。さらにエコサントイレの有効性に着目したマラウイ政府農業省がマラウイ大学ブンダカレッジの研究者にその有効性に関する調査を依頼するなど、本事業の与えたインパクトは大きい。

【自立発展性】

事業地における住民の蚊帳使用に関しては住民組織によるモニタリング活動により

常に90%以上の使用率を約3年間維持しており、住民による蚊帳使用は既に定着している。蚊帳が破損した場合の修繕方法についてもキャンペーンを通して指導済みであり、今後も住民の蚊帳使用は継続していくと考えられる。母子保健に関しては、事業地内に建設した保健センター産科棟にマラウイ政府の助産師が着任し、常時分娩介助及びHIV/AIDSの検査を含めた妊婦健診を実施できる体制が整えられた。さらに同産科棟では毎週一回のペースで伝統的産婆による母親学級が継続開催されている。建設した井戸及び水道に関しては管理委員会によるWPGの運営等を通して井戸/水道維持管理費の創出が実施されており、エコサントイレに関しても90%の所有者の間で使用が定着している。これらの環境改善により、事業地は住血吸虫症が伝染しにくい状況となった。ローカルシードバンクの運営にあたっては住民らの寄付による余剰種子と共同農場の運営による自主運営の制度を構築すると共に、高価な農薬に頼らないニームの葉を用いた害虫対策の手法と事業地におけるニームの植林を導入することで自立発展が可能な体制を確立した。

ウ. 今後の方針

本事業は3年間のプロジェクトの最終年度にあたり、ンコタコタ県での事業がこれで終了となる。しかしながら当会では本案件と並行してドーワ県での村落開発事業も実施しており、マラウイ政府農業省との協働によるエコサントイレの普及促進に関してはそちらを軸として活動を継続する。また、本案件終了後の住民の活動継続状況に関しても当会マラウイ事務所のスタッフが定期的に視察に訪れ、モニタリングを継続していく予定である。また、本案件で得た成果や知見、技術のマラウイ国内での更なる普及と発展を目的として、リロングウェ県における日本NGO連携無償資金協力による新たな案件を申請中である。

3. 日本NGO連携無償資金精算額： 570,979.41 米ドル
(契約額(供与限度額)より7,944.59 米ドルの減)

4. 会計報告(事業資金収支表、資金使用明細書、支払証拠書オリジナル)：

別紙のとおり

5. 外部監査報告書提出予定日：本報告書に添付

【添付書類】

- ①日本NGO連携無償資金収支表(様式4-a)
- ②日本NGO連携無償資金使用明細書(様式3-a)
- ③経費支払証明(様式3-b)
- ④事業の成果に関する詳細報告
- ⑤銀行残高証明(または通帳の残高欄写し)
- ⑥活動内容、事業の成果がわかる写真
- ⑦外部監査報告書
- ⑧添付資料
 - ⑧-1 乾季マラリア調査結果
 - ⑧-2 雨季マラリア調査結果
 - ⑧-3 第3回ビルハルツ住血吸虫調査結果(6月)
 - ⑧-4 第4回ビルハルツ住血吸虫調査結果(8月)
 - ⑧-5 第52回日本熱帯医学会大会抄録(住血吸虫)
 - ⑧-6 第26回日本国際保健医療学会学術大会抄録(母子保健)

添付書類④ 事業の成果に関する詳細報告

「マラウイ共和国中部ンコタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業（フェーズ3）」

本報告書においては、2010年11月5日から2012年1月4日までの期間に実施した活動についての報告を行う。本事業においてはンコタコタ県マレンガチャンジ地区を事業対象地域としているが、便宜上事業地を下記の表1及び表2に示す通りセクションによって分割し、この分類に基づいて事業を実施している（14セクション、52カ村、1,756世帯、8,363人）。また、これらのセクション外で表3に示す地域において蚊帳の配布とモニタリング活動を実施する（18カ村、652世帯、3,113人）。

表1. 事業対象地域の世帯・人口分布（Section1～7）

セクション	Group Village Headman	村名	世帯数	人口
Section1	G. V. H. Chizuula	Chatanga	29	139
		Kalimanjira 3	46	194
		Matumba	24	102
Section2		Chaluso	27	123
		Chizuula	83	352
Section3		G. V. H. Kalusa	Kalusa 2	39
Section4	Tondwa		24	109
	Kalusa 1		61	324
Section5	Malithano		27	120
	Chipale		37	181
	Kalusa 3		45	244
Section6	G. V. H. Mapulanga	Kamdyambe	22	110
		Mapulanga	83	414
	Section7	G. V. H. Njumbula	Chinkhande	15
Mthandula			16	71
Elia			31	130
Njumbula 1			78	378
Njumbula 2			35	150
合計 (A)			722	3,381

表 2. 事業対象地域の世帯・人口分布 (Section8~14)

セクション	Group Village Headman	村名	世帯数	人口
Section8	G. V. H. Mapulanga	Chogona	17	69
		Phwetekele	37	144
		Chiponde	17	79
		Njewa	7	40
Section9	G. V. H. Chopela	Tawala	14	82
		Mishaji	22	122
		Nthondo 2	21	107
		Kasiya 1	46	240
		Chimunkhu	9	50
		Zamangwe 1	25	133
		Zamangwe 2	24	134
Section10	G. V. H. Chopela	Kasiya 2	44	235
		Chilezi	35	202
		Nthondo 1	36	171
		Chopela 1	47	202
Section11	G. V. H. Chopela	Betha	18	110
		Chopera 2	67	296
		Chopera 3	41	177
		Kholoti	61	311
Section12	G. V. H. Nkhongo	Kalebe	15	71
		Chulu	12	75
		Nkhongo 1	54	269
		Nkhongo 2	35	161
		Nkhongo 3	27	155
		Kuchelachera	35	182
Section13	G. V. H. Kachitosi	Kachitosi 1	25	103
		Kachitosi 2	16	65
		Kaulufu	13	58
Section14	G. V. H. Kaulungu	Kapinda	10	51
		Kazimu	40	178
		Nkhwechezi	11	42
		Kaulungu1	87	355
		Kaulungu 2	16	73
		Jasi	50	240
合計 (B)			1,034	4,982
(A) + (B)			1,756	8,363

表 3. 蚊帳配布対象地域の世帯・人口分布 (Section15~17)

セクション	Group Village Headman	村名	世帯数	人口
Section15	G. V. H. Namakwati	Namakwati	70	300
		Mnjoro	44	206
		Iphani	25	105
		Nyanda	25	160
		Chitakwala	12	62
		Nthulunyanda	12	50
Section16	G. V. H. Mnthanje	Mnthanje1	87	459
		Mnthanje2	63	347
		Mnthanje3	43	212
		Mkwezalamba	23	86
		Mgombe	30	116
Section17	G. V. H. Milimbo	Milimbo	49	195
		Mataya	15	83
		Zalira	32	138
		Kachere	41	203
		Falioti	25	109
		Namalo	28	178
		Thebulo	28	104
合計 (C)			652	3,113
(A)+(B)+(C)			2,408	11,476

次項に本事業において実施した活動のリストを示す。その後 6 ページ以降においてそれぞれの活動の詳細について報告する。なお、リスト中、番号の右側に付けた※印は中間報告書にて既に報告済みであることを示す。

- ① マラリア対策：裨益者 11,400 名以上(事業地の Section1～Section5 では、蚊帳配布前と比較して裨益者全体で 30%、5 歳未満児で 43%のマラリア陽性率低下が確認された)
- 1 ※ 2010 年 11 月：第 3 回乾季におけるマラリア調査 (12 カ村、1,280 名)
 - 2 ※ 2010 年 12 月～2011 年 1 月：小学校におけるマラリア予防教育 (参加者数：約 600 名)
 - 3 ※ 2010 年 12 月：蚊帳配布のための一斉調査 (18 カ村、652 世帯)
 - 4 ※ 2010 年 12 月：村落保健委員を対象としたマラリア・蚊帳配布の内容説明とトレーニング (参加者数：79 名)
 - 5 ※ 2011 年 1 月：マラリア予防のための蚊帳使用に関する意識向上キャンペーン (参加者数：1,272 名)
 - 6 ※ 2011 年 1 月：蚊帳配布 (18 カ村、652 世帯)
 - 7 ※ 2011 年 1 月～2 月：第 3 回雨季におけるマラリア調査 (12 カ村、1,230 名)
 - 8 ※ 2011 年 2 月：第 1 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (70 カ村、2,408 世帯)
 - 9. 2011 年 5 月：第 2 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (70 カ村、2,408 世帯)
 - 10. 2011 年 8 月：第 3 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (70 カ村、2,408 世帯)
- ② 住血吸虫症対策：裨益者 967 名以上(事業地では Section1～Section5 の住民 967 名に対して治療薬の投与を行い、その結果約 27%のビルハルツ住血吸虫症陽性率の低下が確認された)
- 11. 2011 年 4 月：ビルハルツ住血吸虫症調査のための情報収集 (12 カ村、464 世帯)
 - 12. 2011 年 6 月：第 3 回ビルハルツ住血吸虫症調査 (治療薬一斉投与前) (参加者数 315 名)
 - 13. 2011 年 6 月：ビルハルツ住血吸虫症治療薬 (プラジカンテル) 一斉投与 (参加者数 967 名)
 - 14. 2011 年 8 月：第 4 回ビルハルツ住血吸虫症調査 (治療薬一斉投与後) (参加者数 301 名)
- ③ 母子保健：裨益者 558 名以上(事業地で伝統的産婆を講師とした母親学級を月 2 回のペースで実現した。また、新たに 4 名の伝統的産婆らに母子保健の基礎教育を行った)
- 15. 2010 年 12 月～2011 年 12 月：母親学級リハーサル (参加者数：9 名)
 - 16. 2010 年 12 月～2011 年 12 月：母親学級 (参加者数：558 名)
 - 17 ※2010 年 12 月：母子保健導入研修 (伝統的産婆の新しい役割) (参加者数：7 名)
 - 18 ※2011 年 3 月：妊婦管理講習会 (妊娠初期編) (参加者数：5 名)
 - 19 ※2011 年 3 月：妊婦管理講習会 (妊娠中期編) (参加者数：4 名)
 - 20 ※2011 年 3 月：妊婦管理講習会 (妊娠後期編) (参加者数：4 名)
 - 21 ※2011 年 3 月：妊婦の栄養講習会 (参加者数：4 名)
 - 22 ※2011 年 3 月：新生児管理講習会 (参加者数：4 名)
 - 23. 2011 年 4 月：村落保健委員を対象とした妊婦管理講習会 (参加者数：106 名)
 - 24. 2011 年 4 月：村落保健委員を対象とした新生児管理講習会 (参加者数：106 名)
 - 25. 2011 年 4 月：母親学級準備講習会 (参加者数：4 名)
- ④ HIV/AIDS 感染予防：裨益者 2,968 名以上(事業地では伝統的産婆や村落保健委員会に HIV 予防講習会を実施した他、全住民を対象とした予防啓発キャンペーンを実施した)
- 26 ※2011 年 3 月：性感染症 (STI) 予防講習会 (参加者数：4 名)
 - 27 ※2011 年 3 月：HIV/AIDS 予防講習会 (参加者数：4 名)
 - 28. 2011 年 4 月：村落保健委員を対象とした HIV/AIDS、STI 予防講習会 (参加者数：106 名)
 - 29. 2011 年 7 月～11 月：HIV/AIDS 予防啓発キャンペーン (参加者数：2,968 名)
- ⑤ 栄養改善：裨益者 389 世帯以上(事業地では 389 世帯の裨益者より合計 14,276kg の種子を預かり、適切に保存し、再配布を実施した)
- 30 ※2010 年 11 月：ローカルシードバンク運営改善講習会 (参加者数：48 名)
 - 31 ※2010 年 11 月：ローカルシードバンクからの種子配布 (18 カ村、187 世帯)
 - 32 ※2010 年 12 月：ローカルシードバンクにおける余剰種子活用方法講習会 (参加者数：48 名)
 - 33 ※2010 年 12 月：ローカルシードバンク種子貸出・販売記録トレーニング (参加者数：9 名)
 - 34 ※2011 年 1 月～3 月：学校菜園運営 (参加者数：約 400 名)
 - 35 ※2011 年 2 月：学校菜園管理講習会 (参加者数：9 名)

- 36 ※2011年3月：ローカルシードバンク修繕講習会（参加者数：24名）
- 37. 2011年5月：ローカルシードバンクにおける種子回収及び保存処理（18カ村、389世帯）
- 38. 2011年5月～6月：学校菜園管理運営・料理講習会（参加者数：162名）

⑥ 井戸建設：10基建設/裨益者1,400名以上(事業地では新たに10か村の住民に対して安全な水を供給した他、これまでに建設した井戸/水道の維持管理費創出のシステムを構築した)

- 39 ※2010年11月：井戸建設前コミュニティ動員活動（参加者数：約400名）
- 40 ※2010年11月～12月：井戸建設（10基建設完了）
- 41 ※2011年1月：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第1セッション（参加者数：33名）
- 42 ※2011年1月：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第2セッション（参加者数：33名）
- 43 ※2011年1月：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング 第3セッション（参加者数：44名）
- 44. 2011年5月～2012年1月：井戸/水道維持管理のための収入創出（参加者数：385名）

⑦ エコサントイレ：裨益者1,200名以上(事業地ではフェーズ1からの累計で239基のエコサントイレを建設した)

- 45. 2010年11月～2011年12月：エコサントイレ建設（30基建設完了）
- 46. 2010年11月～2011年4月：エコサン肥料デモンストレーション農場運営（18カ村、772世帯）
- 47 ※2011年2月：エコサントイレ管理委員会フォローアップ会議（参加者数：20名）
- 48 ※2011年2月：エコサントイレ視察トリップ（参加者数：4名）
- 49 ※2011年2月：エコサン公衆トイレ管理者講習会（参加者数：7名）

⑧ 産科棟建設：裨益者は保健センター管轄化の全住民(事業地では2011年12月に産科棟が完成し、村の中で安全な分娩を実施することが可能となった)

- 50. 2011年3月～2011年12月：保健センター産科棟建設（保健センター管轄化の全住民）
- 51. 2011年12月：保健センター産科棟太陽光発電設備トレーニング（参加者数：22名）

日本 NGO 連携無償資金協力事業完了報告書 活動内容、事業の成果がわかる写真 (NICCO)
 「マラウイ共和国中部ンコタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業 (フェーズ 3)」

	
<p>活動 1※-① : 第 3 回乾季におけるマ ラリア調査の様子</p>	<p>活動 1※-② : 第 3 回乾季におけるマ ラリア調査 (受付)</p>
	
<p>活動 1※-③ : 第 3 回乾季におけるマ ラリア調査 (体温・血圧測定)</p>	<p>活動 1※-④ : 第 3 回乾季におけるマ ラリア調査 (マラリア治療薬の処方)</p>



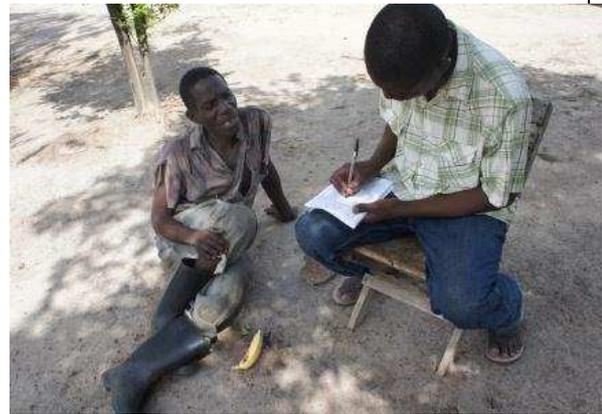
活動 2※-①：小学校におけるマラリア予防教育(講師と生徒)



活動 2※-②：小学校におけるマラリア予防教育(蚊帳を用いて実演)



活動 3※-①：蚊帳配布のための一斉調査(保健調査員との打ち合わせ)



活動 3※-②：蚊帳配布のための一斉調査(調査の様子)



活動 4※-①：村落保健委員を対象としたマラリア・蚊帳配布の内容説明とトレーニング(講義)



活動 4※-②：村落保健委員を対象としたマラリア・蚊帳配布の内容説明とトレーニング(実演講習)



活動 5※-①：マラリア予防のための蚊帳使用に関する意識向上キャンペーン(キャンペーンの様子1)



活動 5※-②：マラリア予防のための蚊帳使用に関する意識向上キャンペーン(キャンペーンの様子2)



活動 6※-①：蚊帳配布(配布の様子)



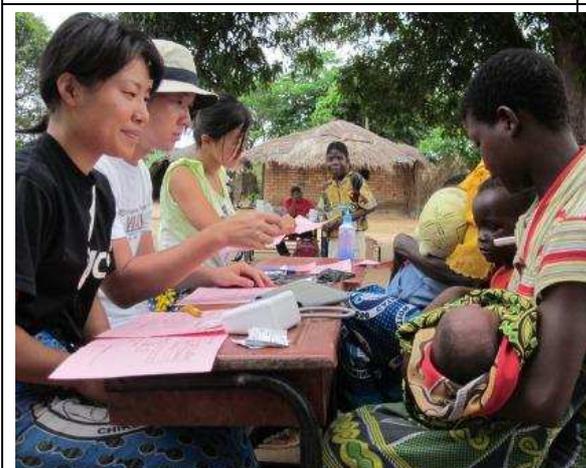
活動 6※-②：蚊帳配布(蚊帳を受け取った女性達)



活動 7※-①：第 3 回雨季におけるマ
ラリア調査(日本人医師による診察)



活動 7※-②：第 3 回雨季におけるマ
ラリア調査(体重測定)



活動 7※-③：第 3 回雨季におけるマ



活動 7※-④：第 3 回雨季におけるマ

ラリア調査 (体温・血圧測定)

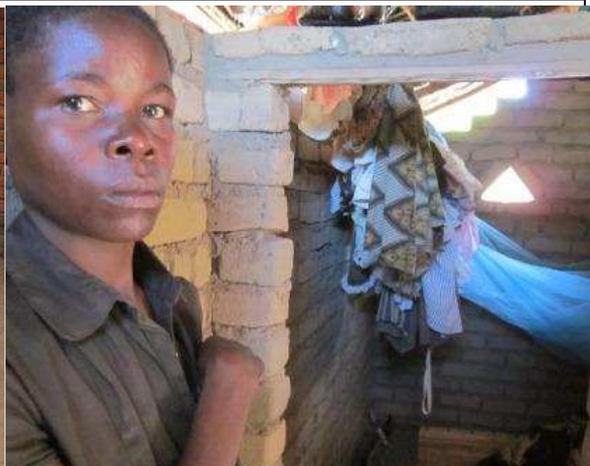


リア調査 (マラリア検査)



活動 8※-① : 第 1 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (蚊帳と裨益者)

活動 8※-② : 第 1 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (モニタリングの様子)



活動 9-① : 第 2 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (モニタリングの様子)

活動 9-② : 第 2 回蚊帳配布地域一斉モニタリング (蚊帳と裨益者)



活動 10-①：第 3 回蚊帳配布地域一斉
モニタリング(モニタリングの様子 1)



活動 10-②：第 3 回蚊帳配布地域一斉
モニタリング(モニタリングの様子 2)



活動 12-①：第 3 回ビルハルツ住血吸
虫症調査(日本人医師と看護師)



活動 12-②：第 3 回ビルハルツ住血吸
虫症調査(日本人医師による尿検査)



活動 13-①：ビルハルツ住血吸虫症治
療薬一斉投与(薬の処方)



活動 13-②：ビルハルツ住血吸虫症治
療薬一斉投与(薬を飲む裨益者)



活動 14-①：第 4 回ビルハルツ住血吸虫症調査(日本人医師・看護師とスタッフ)



活動 14-②：第 4 回ビルハルツ住血吸虫症調査(日本人医師・看護師による尿検査)



活動 15-①：母親学級リハーサル(リハーサルの様子 1)



活動 15-②：母親学級リハーサル(リハーサルの様子 2)



活動 16-①：母親学級(伝統的産婆による講義)

活動 16-②：母親学級(準備中の参加者)



活動 17※-①：母子保健導入研修（伝統的産婆の新しい役割）（研修の様子 1）



活動 17※-②：母子保健導入研修（伝統的産婆の新しい役割）（研修の様子 2）



活動 18※-①：妊婦管理講習会（妊娠初期編）（講習会の様子 1）



活動 18※-②：妊婦管理講習会（妊娠初期編）（講習会の様子 2）



活動 19※-①：妊婦管理講習会（妊娠



活動 19※-②：妊婦管理講習会（妊娠

中期編) (講習会の様子 1)



中期編) (講習会の様子 2)



活動 20※-① : 妊婦管理講習会 (妊娠後期編) (講習会の様子 1)

活動 20※-② : 妊婦管理講習会 (妊娠後期編) (講習会の様子 2)



活動 21※-① : 妊婦の栄養講習会 (講習会の様子 1)

活動 21※-② : 妊婦の栄養講習会 (講習会の様子 2)



活動 22※-① : 新生児管理講習会 (講習会の様子 1)

活動 22※-② : 新生児管理講習会 (講習会の様子 2)

習会の様子 1)



会の様子 2)



活動 23-① : 村落保健委員を対象とした妊婦管理講習会 (講習会の様子 1)

活動 23-② : 村落保健委員を対象とした妊婦管理講習会 (講習会の様子 2)



活動 24-① : 村落保健委員を対象とした新生児管理講習会 (講習会の様子 1)

活動 24-② : 村落保健委員を対象とした新生児管理講習会 (講習会の様子 2)



活動 25-① : 母親学級準備講習会 (講習

活動 25-② : 母親学級準備講習会 (講習

習会の様子 1)



会の様子 2)



活動 26※-① : 性感染症 (STI) 予防講習会 (講習会の様子 1)

活動 26※-② : 性感染症 (STI) 予防講習会 (講習会の様子 2)



活動 27※-① : HIV/AIDS 予防講習会 (講習会の様子 1)

活動 27※-② : HIV/AIDS 予防講習会 (講習会の様子 2)



活動 28-① : 村落保健委員を対象とし

活動 28-② : 村落保健委員を対象とし

た HIV/AIDS、STI 予防講習会(講習会の様子 1)



た HIV/AIDS、STI 予防講習会(講習会の様子 2)



活動 29-① : HIV/AIDS 予防啓発キャンペーン(キャンペーンの様子)

活動 29-② : HIV/AIDS 予防啓発キャンペーン(参加者の様子)



活動 30※-① : ローカルシードバンク運営改善講習会(講習会の様子 1)

活動 30※-② : ローカルシードバンク運営改善講習会(講習会の様子 2)



活動 31※-①：ローカルシードバンクからの種子配布(配布の様子1)



活動 31※-②：ローカルシードバンクからの種子配布(配布の様子2)



活動 32※：ローカルシードバンクにおける余剰種子活用方法講習会



活動 33※：ローカルシードバンク種子貸出・販売記録トレーニング

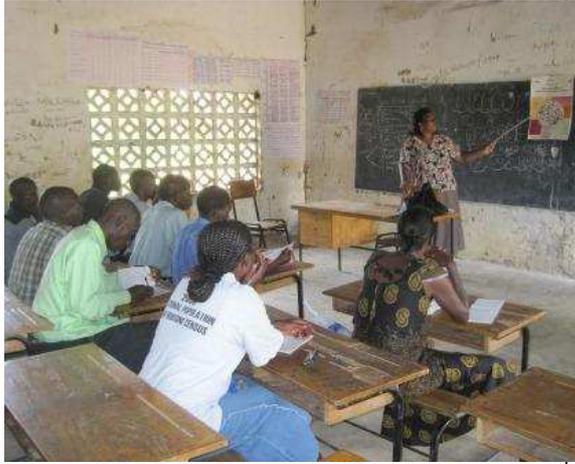


活動 34※-①：学校菜園運営(種を蒔く児童)



活動 34※-②：学校菜園運営(肥料を撒)

〈児童〉



活動 35※-① : 学校菜園管理講習会(講習会の様子 1)

活動 35※-② : 学校菜園管理講習会(講習会の様子 2)



活動 36※-① : ローカルシードバンク
修繕講習会 (修繕の様子 1)

活動 36※-② : ローカルシードバンク
修繕講習会 (修繕の様子 2)



活動 38-① : 学校菜園管理運営・料理講習会 (料理講習)



活動 38-② : 学校菜園管理運営・料理講習会 (児童ら)



活動 40※-① : 井戸建設 (建設中の井戸 1)



活動 40※-② : 井戸建設 (建設中の井戸 2)



活動 40※-③ : 井戸建設 (建設中の井戸 3)

活動 40※-④ : 井戸建設 (完成した井戸)



活動 41※-①：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング(講習会の様子)



活動 41※-②：井戸管理委員会コミュニティ運営トレーニング(グループワーク)



活動 45-①：エコサントイレ建設(建設中のトイレ)



活動 45-②：エコサントイレ建設(完成したトイレ)



活動 46-①：エコサン肥料デモンストレーション農場運営(エコサン肥料を施肥した農場)



活動 46-②：エコサン肥料デモンストレーション農場運営(無施肥の農場)



活動 47※-①：エコサントイレ管理委員会フォローアップ会議(会議の様子 1)



活動 47※-②：エコサントイレ管理委員会フォローアップ会議(会議の様子 2)

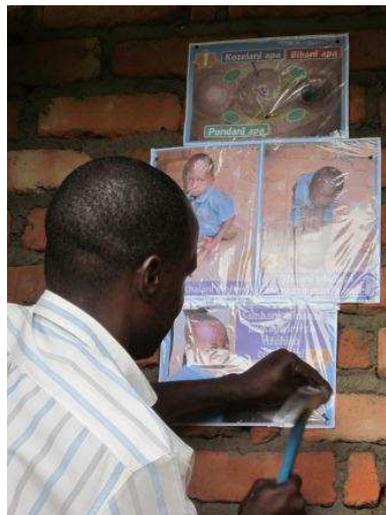


活動 48※-①：エコサントイレ視察トリップ(現地で情報交換)

活動 48※-②：エコサントイレ視察トリップ(Water Aid 型のエコサントイレ)



活動 49※-①：エコサン公衆トイレ管理者講習会(実地講習)



活動 49※-②：エコサン公衆トイレ管理者講習会(トイレ内にポスターを貼付)



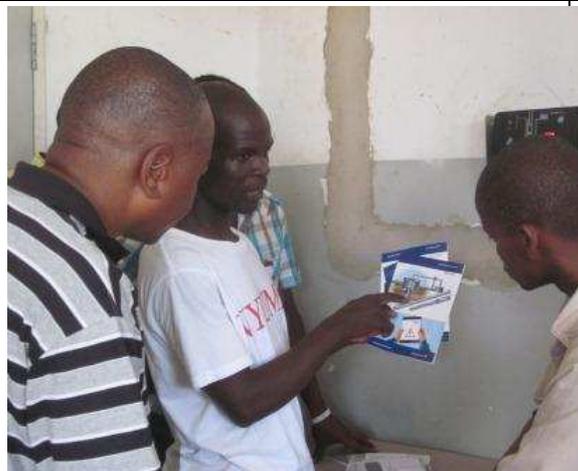
活動 50-①：保健センター産科棟建設(建設予定地での草刈り)



活動 50-②：保健センター産科棟建設(土台部分を建設中)



活動 50-③：保健センター産科棟建設
(完成した産科棟)



活動 50-④：保健センター産科棟建設
(県病院への引き渡し)



活動 51-①：保健センター産科棟太陽
光発電設備トレーニング(講習会の様
子 1)

活動 51-②：保健センター産科棟太陽
光発電設備トレーニング(講習会の様子
2)

日本NGO連携無償事業資金収支表

団体名:公益社団法人 日本国際民間協力会(NICCO)

事業名(実施国):マラウイ共和国中部コタコタ県における保健・医療・衛生及び栄養改善事業(フェーズ3)(マラウイ共和国)

自 平成22年11月5日 至 平成24年1月4日

	連携無償	自己資金	証憑番号	
			(連携無償)	(自己資金)
【収入の部】				
総収入	578,924.00	45,982.00		
【支出の部】				
1. 現地事業実施経費	459,911.44	17,469.89		
(1) 現地事業費	307,978.40	14,199.93		
(イ) 資機材購入費等	181,529.63	14,054.05		
(1) 保健センター産科棟の建設	130,012.89	9,231.89	A-1~A-49	B-1~B-2
(2) 疾患状況のデータ整備(マラリア)	10,584.28	2,375.88	A-50~A-161	B-3~B-5
(3) 疾患状況のデータ整備(住血吸虫)	8,852.48	787.21	A-162~A-200	B-6~B-8
(4) 井戸建設	17,113.08	1,658.89	A-201~A-245	B-9~B-15
(5) 栄養改善	5,248.91	0.00	A-246~A-561	
(6) エコサントイレ建設等	8,588.19	0.00	A-562~A-679	
(7) その他	3,149.02	0.00	A-680~A-726	
(ロ) ワークショップ等開催費	19,511.52	146.88		
(1) 会場借上費	445.85	0.00	A-727~A-772	
(2) 講師招待料	18,301.64	145.88	A-773~A-1197	B-16
(3) 講習会準備費	764.03	0.00	A-1198~A-1233	
(ハ) 専門家派遣費	106,937.25	0.00		
a) 専門家派遣旅費等	52,943.09	0.00	A-1234~A-1306	
b) 謝金	54,994.16	0.00	A-1307~A-1324	
(ニ) 事業管理費	151,933.04	3,269.96		
(イ) 現地スタッフ人件費	29,761.87	3,240.14		
(1) フィールド・オフィサー	24,881.07	2,783.17	A-1325~A-1380	B-17~B-72
(2) 運転手	4,004.08	458.97	A-1381~A-1394	B-73~B-86
(3) 警備員	1,078.72	0.00	A-1394~A-1406	
(ロ) 現地事務所借料等	2,107.66	0.00		
a) 現地事務所借料	1,887.18	0.00	A-1407~A-1410	
b) 現地事務所志願費	140.48	0.00	A-1411~A-1418	
(ハ) 現地移動費	65,928.82	0.00		
a) 車両購入費・借料	27,598.88	0.00	A-1419~A-1543	
b) 車両維持費	34,281.55	0.00	A-1544~A-1875	
c) 現地出張費	4,070.34	0.00	A-1876~A-1865	
(ホ) 通信費	10,818.10	0.00		
a) 固定回線使用料	7,238.71	0.00	A-1866~A-1981	
b) 携帯電話使用料	3,251.29	0.00	A-1982~A-2027	
c) 銀行手数料	330.10	0.00	A-2028~A-2048	
(ヘ) 事業資料作成費	779.21	29.82		
a) 資料作成費	778.21	28.82	A-2049~A-2082	B-87~B-88
(ト) 事務用品購入費等	834.88	0.00		
b) 事務機材等購入費・借料	834.88	0.00	A-2083~A-2096	
(チ) 本部スタッフ派遣費	41,702.50	0.00		
a) 旅費	18,885.02	0.00	A-2087~A-2096	
b) 日当・宿泊費	20,334.54	0.00	A-2097~A-2106	
c) その他旅費	4,402.94	0.00	A-2107~A-2116	
(3) 情報収集費	0.00	0.00		
(1) 新聞購入費	0.00	0.00		
2. 本部事業実施経費	100,764.85	0.00		
(1) 本部スタッフ人件費	100,764.85	0.00		
(イ) 本部スタッフ人件費	99,829.63	0.00		
(1) 派遣スタッフ	83,838.72	0.00	A-2117~A-2143	
(2) 本部スタッフ	36,180.81	0.00	A-2144~A-2174	
(ロ) 会議費	381.34	0.00	A-2175~A-2183	
(ハ) 通信費	414.93	0.00	A-2184~A-2204	
(ホ) 事務用品購入費	138.95	0.00	A-2205~A-2214	
3. 外部監査費	11,650.78	0.00		
(イ) 現地外部監査実施経費	1,820.10	0.00	A-2215	
(ロ) 本部外部監査実施経費	9,830.68	0.00	A-2216	
4. 普通預金利息	1,347.66		A-2217~A-2228	
普通預金利息	1,347.66			
総支出	570,979.41	17,469.89		
残高	7,944.59	28,512.11		